

かほくワークシート

障害者に配慮参加促す

手話など「情報保障」重視



仙台市で開催中の第3回国連防災世界会議は障害者が参加しやすい会議を目指し、手話や字幕で情報を提供する「情報保障」を重視している。災害弱者とされる障害者への配慮が、世界の共通認識になっている。

青葉区の仙台国際センター展示棟で開かれている本体会議では、参加者の発言が逐一、英語の字幕で大型スクリーンに表示される。一部会場には日本語字幕も付く。国際手話と日本語

の通訳者も希望に応じ配置される。過去の回の会議ではなかった対応だ。

聴覚障害者で初めて欧州議会議員になったハンガリ人のアダム・コーサさん(39)は「これまでは自分で手話通訳者を手配する必要があったが、今回は大きな前進だ」と歓迎。「行事全

てで字幕表示されないのは残念だが、徐々に改善されるだろう」と語った。

NPO法人「パソコン要約筆記 文字の都仙台(仙台市)」は一般公開事業3件で字幕表示を担う。福元智美副理事長は「会議を機に障害者支援への関心も高まってほしい」と望む。

バリアフリーにも留意した。展示棟は玄関口からメイン展示室まで段差がなく、車いすでも移動しやすい。市内3カ所のホテルには車いす対応の部屋計20室が確保された。

災害時に障害者が犠牲になる例は多く、東日本大震災での死亡率は住民全体の約2倍だったことが判明している。会議最終日の18日に採択される新指針では、2005年の前回会議で策定された「兵庫行動枠組」に比べ災害時の障害者への配慮が強調される見通しだ。



議論の内容を手話通訳する女性＝14日、仙台市青葉区の仙台国際センター展示棟

(2015年3月17日河北新報朝刊)

- ①国連防災世界会議では、障害者が参加しやすいように手話や字幕による対応が配慮されました。そのことを何と呼んでいますか。漢字4字で書きましょう。
- ②この記事ではおもに、会議の場の配慮について述べています。みなさんのまちの道路や公園、そして大きな建物では災害時に役立つ情報提供やバリアフリーの配慮を見たことがありますか。整理してみましよう。

年 組 名前

(小学校中学年以上/防災教育)